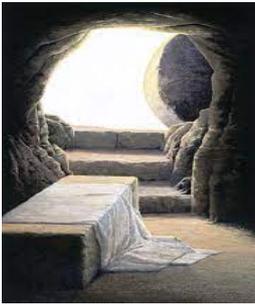


「目が開かれ、心は燃えて」

ルカの福音書 24 章 13～35 節



イエスキリストが復活された日の午後、エルサレムからエマオに向かっていた二人の弟子にイエスキリストが会ってくださった時のことが記されています。この時の彼らは、最初は落胆していたと思います。しかし後に彼らは心が燃える経験をしました。彼らは、二人の目はさえぎられていたのでイエス様を認識できなかったとありますが（16 節）、しかし、彼らは目が開かれてイエス様がわかりました（31 節）。彼らに何が起こったのでしょうか。

① ともにいてくださるのに、イエスキリストがわからないという経験

“話し合ったり論じ合ったりしているところに、イエスご自身が近づいて来て、彼らとともに歩き始められた。しかし、二人の目はさえぎられていて、イエスであることが分からなかった。”
15-16

“彼女はこう言ってから、うしろを振り向いた。そして、イエスが立っておられるのを見たが、それがイエスであることが分からなかった。”ヨハ20:14

“夜が明け始めていたころ、イエスは岸辺に立たれた。けれども弟子たちには、イエスであることが分からなかった。”ヨハ21:4

② イエスキリストが見えなくても、イエスがわかり、心が燃やされるという経験

“そして彼らと食卓に着くと、イエスはパンを取って神をほめたたえ、裂いて彼らに渡された。すると彼らの目が開かれ、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は話し合った。「道々お話しくくださる間、私たちに聖書を説き明かしてくくださる間、私たちの心は内で燃えていたではないか。」”30

“あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、栄えに満ちた喜びに躍っています。あなたがたが、信仰の結果であるたましいの救いを得ているからです。”1ペテ1:8

③ 私たちに近づき、私たちとともに歩まれるイエスキリストをお迎えしよう

“話し合ったり論じ合ったりしているところに、イエスご自身が近づいて来て、彼らとともに歩き始められた。…イエスは彼らとともに泊まるため、中に入られた。”15、29

“見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。”マタイ28:20

<話し合ってみましょう>

- ・あとになってから、「あの時、イエス様が私とともにいてくださった」ことがわかった。そういう経験があれば分かち合ってみましょう。
- ・あの時から、自分の信仰の目が開かれた、心が燃やされた。そういう経験があれば分かち合ってみましょう。